



委員会の行政視察報告

先進自治体の事例を学ぶため、7月に議会運営・総務・経済・文教の各委員会が行政視察を行いました。その概要をお知らせします。

●総務委員会 7月14日～16日

総務委員会は、7月14日から16日にかけて、沖縄県那覇市、浦添市、宜野湾市を視察しました。

那覇市では、経営改革アクションプランの中で市民協働が積極的に取り入れられていることに委員の関心が集まりました。浦添市では、地域通貨「察度」を使った協働のまちづくり事業について勉強しました。宜野湾市では、男女共同参画事業の説明を受け、女性が積極的に社会進出している沖縄県の現状を実感しました。

事業の説明を受ける(宜野湾市)



●文教委員会 7月14日～16日

文教委員会は、7月14日から16日にかけて、秋田県男鹿市、秋田市、北海道函館市を視察しました。

今年2月に市民病院の経営健全化プランを策定した男鹿市では、プランの概要説明を受けました。秋田市では、市独自の在宅子育てサポート事業と駅前に整備された子ども未来センターの視察を行いました。函館市では、文化活動での学校開放と医師確保対策、経営健全化など先進の市立病院改革の取組みについて伺いました。

子ども未来センターを視察する(秋田市)



●議会運営委員会 7月9日、10日



議会基本条例の説明を受ける(銚田市)

議会運営委員会は、7月9日、10日に茨城県銚田市、千葉県我孫子市を視察しました。視察項目は、銚田市が議会基本条例、我孫子市が議会改革についてです。

銚田市の議会基本条例の制定については、スピード感を持って対応されたことの報告がありました。

我孫子市では、各議員の賛成・反対の採決を、押しボタンで議場内の大型ディスプレイに表示できる「採決表示システム」が導入されており、一般質問での質問席は、市長と対面できる位置に設置されていました。

●経済委員会 7月22日～24日



企業誘致事業の説明を受ける(霧島市)

経済委員会は、7月22日から24日にかけて、福岡県福岡市、熊本県荒尾市、鹿児島県霧島市を視察しました。

福岡市では、福岡競艇の運営状況や施設改善等の説明を受けました。荒尾市では、商店街の若い人が中心となり、地域の雇用創造と地域経済の活性化を図る地域再生事業を伺いました。霧島市では、企業誘致のために市が積極的に事業を推進し、多くの企業を誘致してきたその取組みについて勉強してきました。